

# 令和5年度事業計画書

( 自 令和5年4月 1日 )  
( 至 令和6年3月31日 )

## I 事業の概要

光科学技術の高度化と新しい科学の創造に貢献するとともに、光科学技術の振興を図ることで、科学技術と産業経済の発展に貢献できるように、積極的に事業を推進する。

### 1. 調査・研究事業

学術的・社会的要請の強いテーマを採り上げた調査・研究や、国内外の研究者の交流を目的とした研究会の開催等により、光科学技術の振興に資する事業活動を行う。

### 2. 顕彰・助成事業

光科学技術分野における秀でた研究者を顕彰し、また、研究者への研究資金の助成を通して、研究の促進と研究者の育成を図る。とくに未知未踏領域に取り組む研究への支援を行う。

### 3. 普及啓発事業

調査・研究事業、および、顕彰・助成事業の実施で得られた情報や研究成果等を広く公開し、あわせて一般市民に対して光科学技術についての普及啓発を行う。

### 4. 奨学金事業

光科学技術関連分野において博士学位の取得を目指す優秀な学生に対して、学業と研究に専念できるように奨学金を給付することで、将来の光科学技術関連分野を担う人材育成に寄与する。

### 5. 交流・協力事業

光科学技術に関連する内外研究機関や研究者と交流を図り、光科学技術を通して科学全般の発展に寄与する。

## II 具体的事業内容

### 1. 光科学技術に関する基礎的な調査・研究

#### (1) 光科学技術に関する研究会の開催

##### 農業・工業原材料生産と光技術研究会の開催

世界の人口増大に対する食糧の確保という観点にとどまらず、工業原材料の生産、環境負荷低減という視点にも立った新しい農業・生物生産産業を目指すには、光技術を用いた研究・技術開発をどのように進める必要があるかを議論する。

#### (2) 光科学技術に関する基礎的な調査

##### 委託調査研究の実施

「レーザー科学技術の将来」を調査研究課題として、光産業創成大学院大学に委託する。広範囲の産業・科学の領域に関係するレーザー科学技術の動向と将来展望を知

ることは、それらの分野における研究の発展に資するところがきわめて大きいと考えられる。

## 2. 光科学技術に関する秀でた研究者の顕彰、および研究への助成

### (1) 秀でた研究者への「晝馬輝夫 光科学賞」の授与

「晝馬輝夫 光科学賞」として光科学技術に関する秀でた研究者を顕彰する。

### (2) 研究への助成

大学・研究機関等における光科学技術に関する研究者に対する研究助成の申請を公募し、研究助成金を交付する。とくに未知未踏分野に取り組む研究を発掘し、支援を行うことに注力する。

募集テーマ：【第1課題】光科学の未知領域の研究 —とくに光の本質について—

【第2課題】光科学技術による生命科学分野の先端研究

## 3. 光科学技術に関する普及啓発

### (1) 浜松コンファレンスの開催

毎年文化の日に因んで開催する。光科学技術は産業の基盤技術であり、かつ社会生活においていかに利用されているかを一般市民に分かりやすく解説するとともに、人類あまねく健康で幸福な世界を築こうという理念を広げる狙いで実施する。

### (2) 研究助成成果報告書集の作成および配布

研究助成成果の報告書集を作成および配布し、研究に資するとともに普及啓発に努める。

### (3) その他事業の推進

展示会等への出展

光科学技術に関連する展示会等に出展し、事業内容の紹介等を行う。

## 4. 光科学技術関連分野を専攻する博士後期課程学生への奨学金支給

令和3年度、4年度、5年度採用奨学生への奨学金支給を行う。また、令和7年度採用奨学生3名の募集・選考・内定を行う。

## 5. 光科学技術に関する関係機関等との交流及び協力

上記事業を実施する中で、他の各種機関・研究者とも交流を図る。

以上